

国際連合アジア極東経済委員会資料について

まえがき

エカフェの活動は主要な3つの基本線に沿って発展してきた。第1は事実を見いだすこと、事実を記録すること、分析することであり、第2は政府ならびに政府相互間の活動に対する勧告であり、第3は諮問サービスをすることである。この基本線にのっとりエカフェの活動は域内における経済開発政策を促進し、各国政府の経済的自立の援助を行なうことであった。エカフェはその下部機関を通してアジアの経済生活のほとんどあらゆる主要な部門を取り扱い、その活動は経済開発、経済計画、経済調査、財政、内陸運輸、通信、洪水調節、水資源開発、工業発展、鉱物資源開発、貿易、住宅問題、経済開発の社会的側面に及んでいる。これらの分野における活動は会議やゼミナール、調査や研究を通して行なわれ、その結果が年刊の *Economic Survey of Asia and the Far East* およびそれを補足する季刊の *Economic Bulletin for Asia and the Far East*、その他の出版物に発表される。特に会議資料としての U. N. Document は第1次の資料として注目しなければならない。以下これらの資料の解題を行なう。

I *Economic Survey of Asia and the Far East. 1947~ Bangkok [etc.]* (United Nations. [Document] E/CN. 11/)

Survey はエカフェ事務局の編さんによって1948年始めて出版され、以来年刊として継続している。アジアにおける低開発諸国の発展に関心をもつ政府、国際機関、大学、実業家たちの標準的な参考資料となっていることは周知のとおりである。Survey の初期の版は主として広範な地域的基盤にたち、生産、国際貿易、国際収支、金融、財政の諸発展に関する主題を分析していたが、1953年にいたりこれは修正され、一國一國の基盤にたち各分野の体系的研究に重要な関心が示されるにいたったのは、各国政府が年々国勢調査に意をそそぐにいたったか

らであろう。Survey の特色は地域的基盤に基づく最新の研究報告であり、数多くのデータや統計類を収録して域内の経済の位置づけと方向づけを行なっている。1957年以降経済の重要主題の分析を行ない、1957年には経済開発の戦後の諸問題、1958年には戦後の工業化、1959年には戦後貿易を取り上げている。以下各年度版の内容についてやや詳細に述べてみよう。

(1) 1948年版 (289 p. E/CN. 11/191)

域内経済の包括的調査報告であるが、特に人口、領域的变化、政治的变化、生産、金融、財政的發展、インフレーション、物価変動、国際貿易および国際収支に注意している。

(2) 1949年版 (489 p. E/CN. 11/260)

1949年度調査は域内の戦後の経済的發展に基づく特別な要因と問題に重点がある。

(3) 1950年版 (451 p. E/CN. 11/307)

2部に分かれ、第1部は域内の資源、所得、経済開発の諸問題と傾向、第2部は農業生産、工業生産、運輸、国際貿易、国際収支、金融、財政の分野の年間の發展を概観している。

(4) 1951年版 (400 p. E/CN. 11/345)

1950年7月の朝鮮動乱勃発以来の諸發展に重点をおいて、経済状態を概観している。

(5) 1952年版 (104 p. E/CN. 11/)

生産、国際貿易、国際収支、金融、財政的諸發展に重点をおいている。この年から Survey は独立した出版物ではなくなり、*Economic Bulletin for Asia and the Far East* の No. 4 としても発刊されるようになった。

(6) 1953年版 (161 p. E/CN. 11/)

開発の諸問題と展望に焦点をおいていることは例年と同じであるが、本年から域内14カ國の経済的状況の個別調査を掲載した。

(7) 1954年版 (223 p. E/CN. 11/)

構成は2部に分かれ、第1部は地域状況の概観、農業生産、工業生産および運輸、国際貿易、国際収支、金融、財政的發展、開発計画の進捗、第2部は各国別の調査で

ある。

(8) 1955年版 (235 p. E/CN. 11/)

地域的経済状態の全般の概観に始まり、農工業生産、通貨の発展、開発計画の実施状況に及び、さらに域内17カ国の経済問題ならびに経済開発を分析している。

(9) 1956年版 (233 p. E/CN. 11/)

2部に分かれ、第1部では域内経済の概観として年間の経済状態と経済開発計画の現状について取り上げ、第2部では各国の経済調査として、開発計画、生産、貿易、財政、金融の諸問題についての調査結果をまとめている。

(10) 1957年版 (261 p. E/CN. 11/)

域内の戦後経済開発についての諸問題を中心課題として取り上げ、まず日本の私企業経営の成長と構造的変化、インドの混合経済における計画的開発、中共の中央集権的計画経済における工業化、原料輸出国の輸出不安定性——国際収支、国内経済、復興および再建（南朝鮮および南ヴェトナム）などについて取り上げている。

(11) 1958年版 (225 p. E/CN. 11/)

2部に分かれ、第1部は1958年におけるエカフェ地域の予備的考察として、生産、外国貿易、資源の配置と不均衡の問題、第2部は戦後の工業化の調査で、工業化への努力、工業の成長と構造、数種類の工業の発展、工業成長と経済発展との関係を取り扱っている。

(12) 1959年版 (169 p. E/CN. 11/)

この Survey の第1部は1959年におけるエカフェ地域の予備的考察として、生産、外国貿易、有効需要と金融政策、第2部はエカフェの主要輸出国の外国貿易で、長期的傾向、展望および問題の2つに分けて調査報告し、付録として日本の輸入計画の基本政策を取っている。

II Economic Bulletin for Asia and the Far East

Bulletin は1950年に始めて出版された。Economic Survey of Asia and the Far East が年間の経済発展の推移をあとづけているのに対して、最新の経済問題に関する論文を掲載しているのが特徴であるといえよう。Bulletin はエカフェ事務局が編集から刊行までの完全な責任を負っている。季刊で3月に刊行の第4号は年刊の Economic Survey of Asia and the Far East にあてられている。つぎに第1巻からの Bulletin の主要論文名を列举する。

(1) 第1巻 (1950年)

エカフェ地域における国内資源の経済開発のための動員と金融制度、アジア、極東における化学肥料工業、アジア諸国における平価切り下げ、物価変動、外国貿易における諸変化、アジア、極東における観光事業の発展、エカフェ地域における輸送施設の利用、政府予算と会計の経済的再編成、アジア、極東における漁業、エカフェ諸国における熟練者の不足のため不利になる経済開発分野。

(2) 第2巻 (1951年)

エカフェ諸国における国民所得算定の諸問題、エカフェ諸国における家内工業、政府による小貸し付け銀行の設置について(特にインドネシアの経験について)、エカフェ諸国における電力生産と開発について、アジアの低開発諸国におけるインフレーションと国内資本の動員、エカフェ諸国の公共部門における工業組織。

(3) 第3巻 (1952年)

アジア諸国の開発計画における金融的側面、アジア数カ国における国民所得の分析。

(4) 第4巻 (1953年)

エカフェ諸国における都市化の側面、エカフェ諸国における生産と貿易の多様性、アジア諸国における税制と経済開発、1949年から53年までの中国本土における経済開発。

(5) 第5巻 (1954年)

エカフェ諸国の多角的決済の範囲、1950年7月から1953年6月までのエカフェ諸国の貿易利益、アジア諸国における公共企業の商業的、経済的側面、エカフェ諸国を中心とする経済開発の金融上の欠陥、アジア数カ国における複数外国為替交換率の適用。

(6) 第6巻 (1955年)

第2次大戦以来のエカフェ諸国における加速度的人口増加、エカフェ諸国におけるインフレーションの経済的指標、第12回アジア極東経済委員会に対する第1回経済開発計画作業部会報告、エカフェ諸国を中心とする経済開発計画の問題と技術、エカフェ地域内の計画関係統計。

(7) 第7巻 (1956年)

アジア極東における人口と食糧供給、赤字予算の経済的概念、第13回アジア極東経済委員会に対する第2回経済開発計画作業部会報告、エカフェ諸国を中心とする開発政策と開発計画実施方法。

(8) 第8巻 (1957年)

アジア極東における外資促進法規、エカフェ諸国を中

心とする経済開発の実施および促進の手段としての貿易政策、エカフェ諸国における貿易条件の変化と国民所得および貿易収支に対する影響、第14回アジア極東経済委員会に対する第3回経済開発計画作業部会報告、アジア極東諸国における農業開発計画。

(9) 第9巻(1958年)

アジア極東を中心とする低開発諸国の税制と農業開発、代替的投資と雇用政策の影響を説明する成長モデル、アジア極東諸国における経済開発に関する工業化の諸問題、第4回経済開発計画作業部会の調査結果。

(10) 第10巻(1959年)

エカフェ地域における人口趨勢と経済開発の関連問題、1958年および1959年初頭のアジア極東の経済状況、第5回経済開発計画作業部会の調査結果。

(11) 第11巻(1960年)

アジア極東における農業計画の側面、アジアにおける中小企業の近代化。

III その他の出版物

エカフェ地域に関連ある国連の出版物で、当研究所所蔵のものはつぎのとおりである。

(1) 経 済

- (4) Mobilization of domestic capital, report and documents of the First Working Party of Experts. Bangkok, 1952. 206 p. Sales number 1953. II. F. 2. English ed.

国内資本動員に対するインフレーションの衝撃、公債売却額増加、特に村落地域における貯蓄動員の方法についての第1回専門家作業部会の報告である。

- (a) Mobilization of domestic capital, report and documents of the Second Working Party of Experts. Bangkok, 1953. 334 p. Sales number 1953. II. F. 4. English ed.

前述のレポートの継続で、国内資本を動員させる方策、アジアと極東における工業金融、農業金融、開発公団、国内資本動員との関連における外国資本および第2回専門家作業部会の報告である。

(2) 鉱物資源開発

- (4) Coal and iron ore resources of Asia and the Far East. Bangkok, 1952. 151 p. (United Nations. [Document] ST/ECAFE/5) Sales number 1952. II. F. 1. English ed.

既知の資源の状態、調査状況、分布範囲、生産増大の

可能性についての調査である。

- (a) Lignite resources of Asia and the Far East, their exploration, exploitation and utilization. [Bangkok] 1956. 134 p. illus (United Nations. [Document] E/CN. 11/438) Sales number 1957. II. F. 3. English ed.

鉱物資源開発シリーズ No. 7 でこの報告書は域内経済発展のために、アジア、極東の褐炭の利用と生産を調査したものである。さらに褐炭鉱床の探査と開発、さまざまな加工方法、火力発電所、鉄鉱業あるいは他の産業目的のための褐炭の利用を詳細に論及している。

- (4) Mining development in Asia and the Far East, 1956. Bangkok, 1957. 63 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/459) Sales number 1957. II. F. 4. English ed.

鉱物資源開発シリーズ No. 8 で域内採鉱活動の1955年7月1日から1956年12月30日にいたる調査報告として、新鉱床の発見、新鉱山および加工工場の開発、鉱物生産の経済的側面を収めている。域外にあるが、エカフェ地域の諸国に影響を与えた3カ国オーストラリア、ソ連、アメリカのおもな資源開発の要約も収録している。

- (a) Survey of mining legislation, with special reference to Asia and the Far East. Bangkok, 1957. 111 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/462) English ed.

鉱物資源開発シリーズ No. 9 で、この報告書はアジア、極東における鉱業法を調査し、域外の諸国における最近の石油法と鉱業法の比較調査を含んでいる。

(3) 洪水調節

- (4) Proceedings of the Regional Technical Conference on Flood Control in Asia and the Far East. Bangkok, 1952. 320 p. (United Nations. [Document] ST/ECAFE/SER. F/3) Sales number 1953. II. F. 1. English ed.

1951年1月、ニューデリーで開催された会議の議事録からなりたっており、専門家によって32の論文が提出され、洪水調節のあらゆる重要な側面を取り扱っている。

- (a) Glossary of hydrologic terms used in Asia and the Far East. Bangkok, 1956. 38 p. (United Nations. [Document] ST/ECAFE/SER. F/10) Sales number 1956. II. F. 7. English ed.

洪水調節シリーズ No. 10 で、この出版物は水資源開発の分野における知識と経験を、域内での交換促進のた

めに用語法を統一する目的で発刊された。

- (v) Multiple-purpose river basin development, part 2C, water resources development in British Borneo, Federation of Malaya, Indonesia and Thailand. Bangkok, 1959. 135 p. (United Nations. [Document] ST/ECAFE/SER. F/14) Sales number 1959. II. F. 5. English ed.

英領ボルネオ、マラヤ連邦、インドネシア、タイ4国における水資源開発についての報告書であり、この4国をその特色、水資源開発の現状、開発促進の必要と可能性、水資源開発の諸問題、要約の5節にわけて報告したものである。

(4) 農 業

- (i) Food and agricultural price policies. Bangkok, 1958. (United Nations. [Document] E/CN. 11/484) Sales number 1958. II. F. 2. English ed.

エカフェとFAOが共同調査した成果で、米を中心とするアジア、極東諸国の食糧と農業価格政策の報告である。

- (ii) Agricultural economics research in Asia and the Far East. Bangkok, 1958. 100 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/487) Sales number 1958. II. F. 4. English ed.

この研究は2部に分かれている。第1部はデータの収集、分析をして農業経済政策を促進するため、政府の農業経済機構や大学の調査機関の役割を検討している。第2部で土地、農業経済、農業金融、農業政策などについての調査計画を記している。

(5) 運 輸

- (i) Locomotive boiler water treatment. Bangkok, 1956. 78 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/436) Sales number 1956. II. F. 6. English ed.

1954年10月、東京で開催の第3回エカフェ鉄道小委員会に提出された報告書である。ボイラー給水における不純物とその結果に関する一般考察のうち、湯垢、腐蝕、腐蝕性脆破、水分誘出の防止方法を概観している。この報告書は機関車のボイラー水の取り扱いに現在行なわれている基本過程を研究報告し、その利点と欠陥を批評したものである。

- (ii) Uniform system of buoys and shore marks for inland waterways in Asia and the Far East. New York, 1957. 20 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/460) Sales number 1957. II. F. 7.

English/French ed.

この報告書はエカフェ諸国の内海航路に使われるブイや海岸標識の統一システムを提示したものである。このシステムは海峽標式にますます採用されつつある国際連盟方式と比較されている。

IV エカフェ関係国連ドキュメント

エカフェ関係の国連ドキュメントは昨年以來購入しているが、これら購入分のなかからおもなものについて紹介する。

(1) 一 般

- Tentative programme of work and priorities 1960~61. 4 Mar. 1960. 59 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/L. 79 Rev. 1)

エカフェの事業計画と優先順位の準備は国連総会、経済社会理事会の基本指示および決定に従うものであるが、1960~61年の暫定事業計画および順位はこの方針により作成され、去る3月の第16回エカフェ総会に付託された。この年度の新計画は電気通信関係のものが中心で、経済社会関係では社会経済発展の人口的側面、村落開発が取り上げられている。

国連技術援助局との地域的協力の事業計画がひきつづき重要視されている。事業計画の個々の内容については1960~61年事業計画説明表が40ページにわたり細目について説明している。

(2) 工 業

- (i) Tentative programme of work and priorities 1960~61 in the fields of industry and natural resources development. 15 Dec. 1959. 21 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/L. 13)

1960~61年の工業天然資源開発分野の暫定事業計画および順位については前述のエカフェ全体の事業計画の細分化の関係にある。事業計画は(1)総括、(2)家内および小規模工業、(3)電力、(4)住宅および建築材料、(5)金属機械、(6)鉱物資源開発の6部からなっている。この文書はその事業説明表であって13ページにわたり詳細に説明している。

- (ii) Review of plans for development of machine tool industry in the region. 28 Oct. 1959. 19 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/L. 9)

事務局がまとめた域内機械工業開発計画概観である。インド、日本、パキスタン、フィリピン、中国本土および

びその他の域内諸国の機械工業を概観し、最後に勧告を付している。この勧告には今後エカフエが調査を行なうべき機械工業の現状、その他の問題を取り上げている。

(3) 技術援助

Information paper on technical assistance provided to countries and territories of the ECAFE region under the expanded and regular programmes, prepared by the TAB Secretariat for the sixteenth session of ECAFE. 4 Jan. 1960. 23 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/520)

第16回エカフエ総会のために国連技術援助局が作成した域内諸国に対する技術援助の報告書で、1959年における技術援助活動の実例報告として重要な文書である。(1)開発計画の作成と遂行、資源基礎調査、政府機構の編成に対する政府援助、(2)公共事業、動力、運輸通信の開発、(3)工業生産、(4)農業生産、(5)農工業に対する補助事業、(6)保健、教育、村落開発、その他社会事業などの分野における援助活動を報告している。

(4) 農 業

Activities of the Food and Agriculture Organization of special interest to the Economic Commission for Asia and the Far East. 1 Feb. 1960. 13 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/522)

FAO がエカフエ地域における諸活動についてエカフエ第16回総会に報告したものである。農業経済、商品、統計、畜産および飼育管理、農産物とその保護、土地開発と水資源開発、農村制度、漁業、林業、養蚕の各分野別に活動を記録している。

(5) 統 計

(i) Activities in the field of statistics; report of the First Working Group of Experts. subject. sampling methods. 31 Dec. 1959. 52 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/517)

1958年12月の第2回アジア統計家会議の勧告によって行なわれた抽出調査法に関する専門家作業グループが第16回エカフエ総会に提出した報告書である。抽出調査方法を発展させる諸問題の一般討論、抽出調査方法の人口センサスおよび農業センサス、雇用、失業、不完全雇用調査および家庭生活調査への応用についての問題点、たとえば応用の障害の存在とその除去の方法について報告している。

(ii) Activities in the field of statistics; report of the Second Working Group of Experts. subject. ca-

pital formation. 31 Dec. 1959, 49 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/518)

資本形成専門家の第2回作業部会報告書である。機械その他設備、建築および建設、農園開発における資本形成について域内諸国の状況と評価、開発資金としての政府資本形成、村落における物々交換、蓄積の変化について調査の結果をまとめている。

(v) Activities in the field of statistics; report on the work on current statistics. 4 Jan. 1960. 3 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/514)

1959年の現行統計に関する作業はエカフエ経済季報に発表のために季刊統計表の準備、統計資料の編さんおよび予算資料の再編さんから形成されている。これらの作業の内容についての経過報告である。

(vi) Activities in the field of statistics; progress report on preparations for the 1960 world censuses for the ECAFE region and on UN/FAO programme of census technical assistance in Asia and the Far East. 4 Jan. 1960. 6 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/515)

エカフエ諸国に対する世界センサス計画の報告と国連・FAO協同のセンサス技術援助の概要の報告である。

(vii) Activities in the field of statistics; report on preparatory work for the third session of the Conference of Asian statisticians. 4 Jan. 1960. 4 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/516)

今年3月、バンコックで開催の第3回アジア統計家会議の準備作業の報告である。

(6) 工業化の進展と諸問題

(i) Progress and problems of industrialization in the ECAFE region. 27 Nov. 1959. 46 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/L. 11)

この文書は1958年および1959年前半期におけるエカフエ地域諸国の工業化の進展と問題点についてまとめたものである。1958/59年度は各国の工業開発計画が最終年にはいることにおいて重要な年次であるとともに、多数の国が貿易収支の悪化のために工業開発は遅れたが、将来の計画の貴重な経験になるという意義をもった。工業成長の速度と型、重要工業の開発、工業計画と政策、工業化促進方策国際的地域的協力の諸問題を扱っている。この報告には域内諸国から提出された各国別の工業化の進展と諸問題が補足されており、いずれも1958/59年度の(1)工業成長の速度と型、(2)工業投資の性格および動向、

(3)工業計画および政策, (4)国際協力, (5)阻害要因と諸問題について報告している。そのおもなものを列挙するとつぎのとおりである。

(a) Progress and problems of industrialization in Singapore, prepared by the Government of Singapore. 23 Nov. 1959. 15 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/27)

(b) Progress and problems of industrialization in India (1958/59), prepared by the Government of India. 24 Nov. 1959. 18 p. (United Nations [Document] E/CN. 11/I & NR/28)

(c) Progress and problems of industrialization in the Republic of China, prepared by the Government of the Republic of China. 24 Nov. 1959. 14 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/29)

(d) Progress and problems of industrialization in Ceylon, prepared by the Government of Ceylon. 24 Nov. 1959. 15 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/30)

(e) Progress and problems of industrialization in Laos (1958/59), prepared by the Government of Laos. 24 Nov. 1959. 7 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/32)

(f) Progress and problems of industrialization in the Philippines, prepared by the Government of the Philippines. 25 Nov. 1959. 15 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/25)

(g) Progress and problems of industrialization in the Republic of Korea, prepared by the Government of the Republic of Korea. 25 Nov. 1959. 13 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/26)

(h) Progress and problems of industrialization in the Republic of Viet-Nam, prepared by the Government of the Republic of Viet-Nam. 27 Nov. 1959. 18 p. (United Nations. [Document] E/CN. 11/I & NR/31)

(7) 水資源開発および洪水調節

(i) Activities in the field of flood control and water resources development, 24 Dec, 1959, 8 p, (United Nations, [Document] E/CN. 11/512, E/CN. 11/FLOOD/20)

洪水調節, 水資源開発局の1959年度報告書で, この年度の開発局の活動と将来の事業計画についてのものである。

(c) Report of the Committee for co-ordination of investigations of the Lower Mekong Basin, 11 Jan. 1960. 13 p. (United Nations, [Document] E/CN. 11/513, E/CN. 11/WRD/MKG/R. 22)

エカフェの促進した最大の計画の1つはメコン川下流域開発計画であって, 1957年エカフェの第13回総会の決定によって開始された。この文書はメコン川下流域調査調整委員会の報告で, 調査計画の実施援助の状況について; 贈与国と国連諸機関からの提供の状況, 流域諸国の支出, 追加要求, 経営, 1960年1月11日の状況, 展望, 評価についての報告である。

(8) 電 力

Report of the Sub-Committee on Electric Power (seventh session) to the Committee on Industry and Natural Resources. 27 Oct. 1959. 37 p. (United Nations, [Document] E/CN. 11/I & NR/19, E/CN. 11/I & NR/Sub. 1/5)

エカフェ電力小委員会が第12回工業天然資源委員会に提出した報告書である。域内の電力開発状況, 西欧, ソ連, アメリカの電力事情視察報告, 農村電化, 潜在水力発電能力評価作業部会の報告, 電圧, 周波数標準化および域内諸国の電気工業状況についての活動の報告である。

(9) 貿 易

Long-term trade agreements of the countries of the ECAFE region, report by the Secretariat. 15 Oct. 1959. 29 p. (E/CN. 11/TRADE/L. 26)

最近, エカフェ地域諸国が締結した長期貿易協定についての事務局の報告である。域内の長期貿易協定の実体と協定の経験についての考察からなっている。前者については協定の型, 性格, 貿易収支などについて, 後者については長期クレジットの経済開発助長の財政的技術的援助としての役割, 貿易拡大, 物価および市場の安定などについて報告している。

(図書資料部 鈴木弘明)